

学校名 川口市立前川小学校
所在地 川口市本前川2-11-1
電話 048-265-3375

1 本校の概要

本校では、「思いやりの心もち 進んで学ぶ子 元気な子の育成」を教育目標とし、自分の頭で考え、生き生きと学び合う児童の育成を目指している。本年度、本校の図書室では、貸出返却を電子化で行うようになった。また、週3日図書館司書が勤務している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 図書室の環境整備及び利用の向上
- ・ 図書委員会活動の工夫

(2) 実践の概要

ア 図書室の環境整備

図書室の蔵書の正確な把握、貸出数の把握のために、電子化の導入を行った。本年度より、電子化による貸出返却を開始した。

電子化した図書室の利用が初めてのため全クラスで図書室の利用の仕方のオリエンテーションを行った。その際、どこにどのような本がおいてあるか、ゲームを交えて図書室探検を行った。

年度初めに、先生方に図書室へ入れて欲しい図書のリクエストを募った。授業を通して、必要としている図書を把握し、導入した。また、年度内に次年度購入希望のリクエストを募り、今年度実際に必要だと感じた本の調査を行った。

児童が使いやすい図書室経営に向けて、図書整理ボランティアに蔵書整理を行っていただいた。また、読み聞かせで使用した本を、手に取りやすいように掲示した。



イ 図書委員会活動の工夫

新着図書の紹介コーナーを作り、どの本が新しいものかわかるようにして児童の関心を引くよ



うに掲示した。図書委員の児童が、紹介文のポップを作り、読みたくなるような工夫をした。

児童集会で、正しい図書室の利用の仕方や、新着図書コーナーがどこにあるか紹介をした。児童が図書室で過ごしてみたいと思える工夫を行った。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

今年度から貸出返却を電子化したことで、図書室で本を借りる児童が増加した。図書委員の活動も充実した。

図書室利用のオリエンテーションにて図書室のどこにどのような本があるか紹介したことで、図書室で本を探すことを楽しむ児童が増加した。

(2) 課題

今年度行った図書館システムの電子化を実用し、さらなる図書利用を向上させていく。電子化に伴い児童がたくさん来室したため、学年毎に貸出できる時間を調整した。来年度は安定した運営を行うようにする。

朝読書の充実、教師による読み聞かせ活動を取り入れるなどさらなる充実を図り、児童が本に親しめる環境づくりを行っていく。

(3) おわりに

今年度の取組を発展させ、学校図書室経営を工夫しながら児童が本に触れる環境づくりを引き続き行っていきたい。